



Title	D. H. Lawrence の感覚
Author(s)	武居, 正太郎
Citation	人文科学研究報告, 14, pp.1-14; 1965
Issue Date	1965-02-15
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10069/32091">http://hdl.handle.net/10069/32091</a>
Right	

This document is downloaded at: 2019-04-26T10:06:25Z

## D. H. Lawrence の 感 覚

武 居 正 太 郎

文体論なることばによって人々は色々なことを考えている様である。我国では1961年11月に日本文体論協会が結成されたことは周知の通りである。その研究発表会で発表を聞くと文体論なるものの考え方が一人一人かなりの開きがある様な印象をうける。文体、文体論を如何に考えるにしても、ともかくその内容については此処で論議するつもりはない。

Lawrence の文体については山本忠雄博士は次の様に云っている。(山本忠雄：文体論、賢文館、昭15)

1. 静かにのびのびと物をながめる余裕が見られない。常に瞳孔が縮小したり拡大したりして同一の平面や広がりには止っていない。(P.195)
2. 内面的な方向へ凝視する傾きがある。これは感覚の眼で見貫く凝視であると思う。(P.196)
3. 彼は本能の語、感覚の語に高い価値を作り出している。(P.202)
4. ロレンスは短い文を好む。(P.208)
5. ロレンスは触覚型である。先ず皮膚の感覚で形象を作って行く。(P.209)

また村岡勇氏は(「英文法研究」Oct. 1957)「ロレンスも描写の焦点を移動させる。しかし移動させながらも、前に描いた重要なものは、絶えず反覆して筆に載せ、全体の渾然たるイメージ、全体の雰囲気がいづも保持されるように注意している」と云っている。

小林英夫博士は文体論的な概念として文体素なるものをあげ、それは word order, vocabulary. 文字の使用等の形であらわれると云う。その文体素なるものは作家がそれを自覚している場合とそうでない場合とがあるが、何れにしても文体素なるものは作家を特色づけるものである。小林博士は作家が自覚している場合の文体素を表出と名付け、自覚していない文体素を流露と呼んでいる。(講座現代語5「文章と文体」明治書院 pp. 216~217)

D. H. Lawrence が動詞を先にして主語をその後と云う word order を特に紀行文 Sea and Sardinia でよく使っている——これは山本博士がすでに指摘している処であるが (op. cit. p. 58) ——, The Man Who Died の中で lantern と云う語をことさらに lanthorn と綴って或場面の雰囲気をかもし出す一助ともしているとか、こう云うのは自覚的な事実と云ってよかろう。私は此処では此の様な、作家の自覚的な事実、つまり小林博士の所謂表出を問題にしないで、流露的なものを視覚、聴覚、触覚等の感覚の見地から眺め、Lawrence の感覚の世界がどの様なものであるかを見て行くことにした。

資料としては初期の作品 The White Peacock (1911), The Man Who Died (1931) を主として Lady Chatterley's Lover (1930) を参考的に使用した。ことばを取りあげる時にはその派生関係のものをふくめて一括して一つの語乃至一つの系統とみる方法も適宜用いて統計を

取った。

先ず視覚に関する語のうち色彩に関する語から。色彩に関する語と云うのは black とか blue とか云う、所謂色彩語の外に blush, flush の様な多少とも色彩に関連した語もその中に入れてある。また hazel とか ivory とか ginger とか直接的な色彩の名前ではなく、物の名を以て色彩をあらわす場合、或は lemon colour とか、brick colour とか云う風に表現する場合もあわせて考えている。その様にして調べて行って表 (1) が出来た。絶対多数なのは white と black であって、これに blue, red, yellow, pale, brown, grey, green が同じ位の頻度を以て連なっている。Pale については分析が不足で、‘うすい’と‘蒼白い’を区別しないで集計したので、後者の意味のものだけを問題にすればもっと数が少くなる訳である。しかし今あげた9種の色彩に Lawrence の色彩の好みが伺われると思う。The Man Who Died は普通人の日常的な世界を描いた作品ではないから色彩の世界も他の作品と異なると思われる。しかし此処に於ても white と black とが最上位をしめていることは此等の色彩に対する Lawrence の絶対的な好みを裏がきするものと考えてよからう。

眼及び眼の働きに関する語は表 (2) の様にあらわれている。eye と云う語は最初 Lady Chatterley's Lover を読んだ時に問題にしなかったので比較が出来ないのは残念であるが、これを除くと頻度の高さは look, see, watch, glance の順になっている。但し此処に於ても look, see はその分析が不十分であることを告白しなければならない。

光、光源等に関する語は表 (3) の様にあらわれている。暗さ、陰影等に関する語は表 (4) の通り。触覚に関する語は表 (5)、聴覚に関する語のうち耳の働きに関する語については表 (6) に示してある。

音声、音響等に関する語については表 (7) の通りであるが、これは119種の語をふくみ、その多様性はおどろくべきであるが、此の表の末の方に掲げた音楽に関する語を加え、更に以上の外に Lady Chatterley's Lover に見える bellow, clap, sough, toot を加えるとその数は実に140種にのぼるのであって、これにより Lawrence の耳の感覚の鋭どさが十分伺われると思う。表の中では、語は alphabet の順序にならべてあるが、ejaculate 外二語を終の方につけたのはそれ等の語を作品の途中から拾い始めたために正確な頻度数がつかめていないので特別扱にしたからである。なおまた onomatopoeia は表 (8) の如くあらわれているが、それに見られる様に、Lawrence の onomatopoeia は繰り返しになっているのが特徴である。

嗅覚に関する表現は分類すると表 (9) の様になるが、先ずその (1) は植物的なおいである。その (2) は香水、鉱物等のにおい、その (3) は飲食物のにおい、その (4) は動物のにおい、その (5) は悪臭、その (6) はこれ等以外の、分類し難いにおいをあつめた。

味覚関係の語は sour とか sweet とかないことはないが頻度がきわめて低いので敢えて取りあげないことにした。

以上は Lawrence だけについてのことであったが、A. Huxley や James Joyce と比較するとどうであろうか。此の二人に比べての Lawrence の特色は何であるか。時間が足りなかった

ので A. Huxley の *Point Counter Point* (1928) の最初の四章 (Penguin Modern Classics), James Joyce の *A Portrait of the Artist as a Young Man* (1916) の Penguin Books 版 pp. 147~194 (これは第四章全部と第五章の一部), Lawrence の *The White Peacock* の Penguin Books 版始めから p.68までと大体同じ分量について比較してみたのが表 (10)~(11) である。表(10) は色彩関係の語であるが、これで見ると特に著しく目につくのは Lawrence に於ける dark と brown である。此処の dark は '暗' の意味の dark ではなく、'黒い' と云う意味の dark だけを取りあげた。

次に、眼および眼の働きに関する語について比較すると表 (11) の様になる。此処では Lawrence の look, see の数が特に目立っているが他の二人に於ても此等の語は相対的に多い方であるから、取りたてて Lawrence の特色であるとは云えまい。表 (12) は光、光源に関する語である。此処にも大して Lawrence の特色らしいものは見当たらないが、太陽に関する語が多いのは生命の symbol としての太陽と云うことに意義があるのではないかと考えられる。しかし何と云っても此の項目での Lawrence の特徴は vocabulary の豊かさであって、彼は27種の語を用いているが、これに対し Huxley は13種、Joyce は15種の語を用いているにすぎない。

表 (13) は暗さ、陰影等に関する語であるが、此処でも Lawrence の特色らしいものは vocabulary の豊富と云うことに止る様である。表 (14) は触覚関係の語である。此の表によると Joyce が特に此の感覚に於て鋭敏であると云う感じがする。山本忠雄博士は Lawrence の 'soft' を著しいものとして指摘している (op. cit. p. 207) が、これはまた Joyce の愛用語でもあると思われる。

Lawrence は *The Man Who Died* の中で *But he could not want her, though he felt gently towards her soft, crouching, humble body.* (*The Phoenix Edition* p. 16) (だが彼には、かがんだ女の柔い、ありきたりの体にむかって心がほごれるのを感じながらもどうしても女を欲する気もちがおきなかった——福田恒存訳) と書いているが、此の soft と云うのは一体誰の感覚であろうか。

Joyce は *Portrait* (Penguin Books 版 p. 171) で *Her thighs, fuller and soft-hued as ivory, were bared almost to the hips, where the white fringes of her drawers were like feathering of soft white down. Her slate-blue skirts were kilted boldly about her waist and dovetailed behind her, as the breast of some dark-plumaged dove.* (彼女の股は肉つきよく、象牙のような色をして、ズロースの白い縁飾りが鳥の柔らかく白い柔毛のようであった。彼女のねず青色のスカートは腰のまわりへ大胆にまくられて、鳩の尾羽のようになっていた。彼女の胸は鳥の胸のように柔らかく、山鳩の胸のようにしなやかに柔らかかった——土居光知訳) と書いている。此処の soft はどうであろうか。鳥の柔らかく白い柔毛の様と云うのは経験に照らして云えることかも知れない。しかし彼女の胸が柔らかいと云うのは一体誰の感覚であろうか。

Chaucer は *The Canterbury Tales* の *The Prologue* l. 153に *Hir mouth ful smal and*

ther-to softe and reed. (彼女の口はとても小さく、そうしておまけに柔らかくて赤かった)と書いている。此の女は Prioress 即ち修道尼院の院長であるが、その口が柔らかいと云うのは誰の感覚であろうか。

小林英夫博士は作者がアングルを何処にすえるかと云うことを取りあげ、例えば漱石の「こころ」をみると広田先生と先生づけに——つまり敬語が使われている、と云うのはその人物にアングルをすえて其処から物を見ていると云うことであると説き、また鷗外については、彼は天上の高き処、Providence の立場に立っていると述べている。

Chaucer の筆のはこび方をみていると、Of twenty yeer of age he was, I gesse. ProL. 1. 82 (思うに年の頃は20) / A forster was he, soothly, as I gesse. ProL. 1. 118 (思うに奴はてつきり森番だ) / It was almost a spanne brood, I trowe. ProL. 155 (それは殆んどスペインの広さはあったと思う) の様に、例は沢山あるが、自分の立場即ち作者の立場から物を云っている。

Chaucer も soft と云う語が割に好きであつたらしく、The Canterbury Tales の中では32回、派生関係のものを合算すると45回出て来る。Prioress の口が soft であると云うのは作者の感覚ではないであろうが、さりげない言葉の使い方の裏になかなかの erotic な効果をねらった十分な計算があつた——つまり此の soft は Chaucer の表出だと思ふのである。

山本博士は生きるまま、感ずるままに表現すると云う文体を Lawrence と Joyce にみている様である (op. cit. p. 202)。上掲の Lawrence と Joyce の例に於ては erotic な意図があるとは受け取れない。私は此処に soft と云う感覚を愛好する此の二人の作家の流麗的なものを見るのである。

次に聴覚に関する語は表 (15) の様になっている。此処に於ては Lawrence と Joyce はほとんど同じ数だけの種類の語を数えることが出来るが、Lawrence には laugh が著しく目立ち、Joyce には hear が特に多い。

最後に嗅覚について云うと Lawrence は7回、Huxley は10回、Joyce は18回言及している。その内訳の大体は表 (16) の如くである。

Lawrence がきわめて感覚的であつたことは諸表の数字が物語ってくれる。いわゆる高等感覚の視覚、聴覚の二つのうちでは、その語の種類の数からみれば聴覚の方がわずかに優勢である。しかし視覚の方がすぐれているのが一般人の常態であると云う。(小林英夫：言語美学、芸文社、p. 142) 触覚的な語は14種を数えるのみであるが、特に soft 及びその派生語の数が多い。此処に於ては彼はことの外 soft warm touch を愛好している様である。Lawrence は嗅覚的にもかなり敏感であり、例えば The white Peacock に於ては少くとも57回の言及があるが、特にその感覚に傾斜しているとは思えない。

Lawrence の他のジャンルの作品、紀行文、詩、それから書簡なども資料として、もう少し時間をかけて調べたならば、もっと違った結果が出たかも知れない。また色彩についても、その象徴性を掘り下げて行ったら面白い発見が出来たであろう。

表(1) P=The White Peacock, M=The Man Who Died,  
C=Lady Chatterley's Lover

語	作品	P	M	C	語	作品	P	M	C
amber		4			mauve				1
auburn		2			milky		1	1	1
azurite		2			orange		6	5	1
black		111	11	54	pale		50	6	39
blue		76	13	51	pallid		2	2	3
blush		19		3	pallor		3		3
brick colour		1			pink		15	3	16
bronze		1			purple		20	3	6
brown		58	2	34	red		92	2	37
copper		1			rosy		2		
crab-coloured				1	rouge		2		
cream		6			ruby		3		
crimson		10			ruddy		20	2	9
dark		64	12	26	sallow		2		
drab		1			scarlet		11	1	4
dun			1		shrimp-coloured				2
earthly looking				1	silver		9	4	?
flesh-tinted		1			sooty		1		
flush		27	1	21	sorrel		2		
ginger		1			suffron			4	
gold		39	12	11	swarthy		4		
gray		55	16	35	tan		7		1
green		50	17	23	tawny		2		1
hazel		3		3	vermillion		1		
heliotrope		2			violet-coloured		1		
indigo			1		wan		4	1	1
ivory			2	2	white		135	30	60
lemon colour		1			wine-coloured		1		
lilac				1	yellow		50	7	39

表(2)

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
eye	352	32	?	peer	4		3
find	87	10	82	see	679	77	237
gaze	7		15	sight	31	3	6
glance	52	13	23	spy		1	
glimpse	4		?	stare	17		12
invisible	?	8	?	watch	137	27	37
look	698	66	422	wink	5		
peep	16	4	1				

表(3)

語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M
blaze	5		flicker	15	3	glow	33	16	ray		4
blink	1		glare	4		illuminate	3		shine	23	6
bright	62	16	gleam	10	4	lamp	36	3	spark	4	
brilliant	13	2	glimmer	9	1	lantern	2	2	sparkle	9	3
candle	10		glint	1		light	15	16	star	6	7
dazzling	1		glitter	17		lightening	2		sun	56	64
flame	10	12	glisten	15	2	lustre	1	1	twinkle	7	3
flare	2		glossy	3	1	moon	20				
flash	13		glory		1	radiant		2			

表(4)

語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M
dark	83	27	glaze	1		shadow	55	18	twilight	15	5
dim-light		2	gloom	17	1	sober	2				
dusk	6	5	shade	13	1	sombre	2	2			

表(5)

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
chill	10	5	9	hot	29	4	15
cool	14	5	12	rough, coarse	4	1	4
cold, icy	63	22	77	smooth, velvety	27	2	13
connexion	?	?	14	soft	105	31	158
contact	?	7	17	sticky	3	?	?
damp, moist, wet	48	8	37	touch	51	52	85
dry	19	8	15	warm	77	21	91

表(6)

語 \ 作品	P	M
hark, hear	138	14
listen	40	3

表(7)

語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M	語 \ 作品	P	M
audible	3		chuckle	5		crunch	8		high	2	
bark	8		clamour	2		cry	124	11	high-pitched	1	
bleat	1		clang	3		deep-throated	1		hiss	2	
boo	1		clank	4		drawl	1		hoarse	6	
boom	2		clatter	3		echo	8		hoot	1	
brassy	2		click	1		fizz	1		howl	6	
bray	2		clink	2		giggle	3		hum	6	5
bugle	1		cluck	1	3	grate	1		hush	5	
bump		2	coo		1	groan	1		husky	3	
buzz	3		crackle	3		growl	1		jangle	1	
calling		1	crash	4	1	grunt	1		jar	2	
chatter	2	1	creak	3		gurgle	1		jig	1	
cheep	2		croon	2		guttral	1		jingle	6	
chink	5		crow		8	harsh	2		laugh	341	6



loud	29	3	shout	23	tingle	1	band	1		
low	18	1	shriek	6	titter	1	banjo	1		
moan	4		shrill	5	2	tone	42	bass	1	
murmur	42	9	sibilant	1	tril	1	chorus	4		
mutter	9		sing	72	1	tum	1	concert	1	
outcry	1		slam	1	tune	12	dulcimer	1		
noise	18		slurr	3	twitter	1	harmonium	1		
note	10		sob	13	voice	103	10	melody	1	
ramble	3		sonorous	1	wail	6	2	music	28	
rattle	17		sound	66	6	whimper	2	organ	3	
reedy	1		splitting		1	whine	5	pianoforte rhapsodies	1	
ripple	1		squeak	2	whirr	2				
ring	15	6	squawk		2	whisper	23	1	pianist	1
roar	8		squeal	2	whistle	10		piano	34	
rowdy	1		stamp	1	whoop	1		play	29	
rumble	2	1	strum	1	yarl	1		rhythm	8	2
rustle	9		swish	4	yell	10		soprano	1	
scrape	2		tap	1	yelp	4		tenor	1	
scream	13		throb	1	ejaculate	?				
screech	4		thud	3	exclaim	?				
sharp	3		tinkle	9	inarticulate	?	1			

表(8)

語	作品	P	M	C	語	作品	P	M	C
chat-chat		1			rattle-rattle				1
chock, chock, chock		1			sip, sip, sip		1		
clink-clink				1	tapped-tapped- tapped				1
coo roo-hoo! roo-hoo hoo!				1	thresh-thresh				1
papp! papp!				1	twang-twang				1

表(9) - 1

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
apple-blossom			1	leaves	1		
aroma		1		lilies	1		
bean-field		1		limes	1		
black-currant leaves	1			mint	2		
chrysanthemum	1			nettle	1		
corn	2			olive-refuse		1	
elm	2			piners		1	
flower	2		1	pinks	1		1
fruit	1			primrose			1
geraniums	1			rhubarb	1		
hay	1			straw	1		
haystacks	1			syringa	1		
honeysuckle	2			turnips	1		
hyacinths			2	violets	3		2
lilac flowers	1			woods	1		

表(9) - 2

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
perfumes		6		something under-earth			1
poison-smelling			1	sulphur	2		1

表(9) - 3

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
bacon			1	mutton chop			1
coffee	1			pork-pies	1		
drink	1			vinegar and sugar	1		
meat (cooked)	1						

表(9) - 4

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
cows	1			goats		1	
beef (live)	1			flesh		1	
blood	1			hair	1		
down (singed)	1						

表(9) - 5

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
evil-smelling	1			lamp	1		
foul breath	1			sewage			1

表(6) - 6

語 \ 作品	P	M	C	語 \ 作品	P	M	C
autumn	1			shadow of leaves	1		1
bitch-goddess			1	sunshine	2		
evening scents	1			sweet scent on the air			1
morning (fragrance of)	1			Venice(smell of)			1
romantic ladies of the last century			1	warm scent	1		
				其 の 他	9		

表(10) PCP=Point Counter Point, WP=The White Peacock  
P=A Portrait of the Artist as a Young Man

語 \ 作品	PCP	WP	P	語 \ 作品	PCP	WP	P
amber		1		brick red			1
auburn	1			bronze		1	
azure			1	brown	1	10	2
bay	1			carrot-colour	1		
black	12	11	2	corpse-white			1
blue	5	8	5	crimson		1	1
blush	5	4		dark	1	11	5

dove grey	1			purple		1	
dun brown		1		red	4	11	2
emerald			2	red brown		1	
florid			1	reddish			1
flush	1	4	3	red purple		1	
ginger		1		rouge	1		
gold		2	3	ruddy	1	2	
gray	1	10	14	russet			2
gray-blue			1	scarlet		1	1
green	1	4	2	silver		1	1
greenish yellow	1			slate-blue			1
ivory		1	4	swarthy		1	
livid			1	tan		2	1
olive			1	turf-coloured			2
orange		1		twine-coloured			1
pale	3	4	8	vermillon		1	
pallid			2	wan			3 ?
pallor			1	white	4	9	5
pink		2	1	yellow		8	6

表 (11)

語	作品	PCP	WP	P	語	作品	PCP	WP	P
eye		36	48	37	see		25	44	34
find		14	16	9	sight		1	4	5
gaze		2	2	9	spectacle		2	1	
glance		1	14	6	spy				1
glimpse				1	stare		2	4	3
look		52	102	15	unseen				4
peep			3		watch		3	21	6
peer				1	wink			1	

表(12)

語 \ 作品	PCP	WP	P	語 \ 作品	PCP	WP	P
blaze		1		lamp	1	2	12
bright	8	2	7	light	3	13	22
brilliant	1	1		lightening			3
candle		3	1	lit	3	2	2
daylight	1	3		lustre		1	
firelight		1		moon		1	1
flame	1	1	10	shine	4	1	
flare		2		sparkle		1	
flash		5		star			1
flicker		3		sun	1	10	1
glare	1	1		sunbeam		1	
gleam		1	3	sunlight		2	2
glimmer		3	3	sunshine	2	2	
glint		1		sunward			2
glitter	1	6		twinkle	2		
glow		6	5				

表(13)

語 \ 作品	PCP	WP	P	語 \ 作品	PCP	WP	P
dark	1	12	14	shadow	1	3	7
dim		3	8	sober		2	1
gloom		3	3	somber		1	
shade		3		twilight		2	1

表(14)

語 \ 作品	PCP	WP	P	語 \ 作品	PCP	WP	P
chill		1	4	coarse			1
clammy	1			cold	7	4	13

cool	4	2	2	rough			2
damp			2	smooth	1		2
dry			7	soft	1	10	9
greasy			1	touch	6	11	11
hot	1	4	1	warm	5	10	8
moist		1	2	wet	2	1	5

表 (15)

語	作品	PCP	WP	P	語	作品	PCP	WP	P
accent				3	glee				2
bang			2		groan	1			
bark	1	1			growl		1		
bell				1	harsh		1		
bleat			1		hear	6	19		36
boom			1		high		1		
brassy			1		hoarse		1		
bray			1		husky	1	2		
buzz			3		inaudible	1			2
cheep			1		jingle		1		2
chuckling			1		laugh	24	51		9
clacking				1	listen	13	6		7
clamorous				1	loud	5	4		2
clang			1		low				3
clatter	1	2			murmur	1	3		7
click	1				mutter	2	1		1
cluck			1		noise	4	1		4
cry	11	5		6	noiselessly				1
deep				1	note	1	3		5
echo	2	4		9	outcry		1		
ejaculation				1	patter				1
giggle			1		pronounce				1

rattle	1	4		strum		1	
ring			1	swish			1
roar	1			throb		1	2
rumble		1		tinkle		2	
rustle		1	1	titter		1	
scrape		1		tone	7	6	5
scream		3		tune		6	
screech		2	2	utter			1
sharp		1		voice	19	11	33
shout	1			wail		2	
shrill	1		2	whine		1	3
sing	5	14	10	whirr		1	
sob		1		whisper	11	3	5
sonorously			1	whistle		4	5
sound	6	14	3	yell		1	

表(16)

P C P : cowslip, fresh smell, humanity, molasses, pipe, rabbits, sick breath, sick room, sweat, tainted air

WP : blood, geranium, evening scents, lamp, mint, vinegar and sugar

P : wet branches, dung, rotted cabbage, cellar, long corridors, mortal odour, myrtle and lavender and vervain, lamp, wet leaves, perfume, sea, molten tallow, tar, long standing urine, etc.